

こどもまんなか社会の実現に向けて

意見番号	意見	意見への対応
1	1人1人が個性を大切に、周りから否定されない社会をつくってほしいと思います。	・ こどもの権利の尊重と擁護を基本とする「こどもの権利に関する条例（仮称）」の制定に向けて検討します。 ・ 学校で、アンコンシャスバイアス（かたよった見方や思い込み）に気づき、なくしていく取組みを進め、人権について考えます。 ・ 「ウェルビーイング・ロゲイニング（チームでまちを巡る体験活動）」を実施して、若者やこどもが、地域・社会とのつながりや生きがい、将来への希望などを感じられるようにします。 ・ 「自分ごと」としてウェルビーイングを高める行動を進める取組みをします。 ・ 「富山・金沢こどもサミット」の宣言を実現するため、各学校での取組みについてこどもたちが発信・共有する機会をつくります。
2-①	子育てを支援する施設があればよいと思います。	・ こどもの遊び場として県では、「富山県こどもみらい館」を設置するとともに、市町村などが設置する児童館の整備を支援します。 ・ 「こどもまんなか社会」のシンボルと位置づける新川こども施設を2027年に開館します。こどもたちに様々な遊びを提供するとともに、保護者にとっても居心地がよく楽しめる施設を目指します。
2-②	家庭の事情によって進路選択の機会が狭められないように学費を補助する制度があればよいと思います。	・ 高等学校で学ぶために、授業料の補助などさまざまな支援を行います。 ・ 医療や福祉の仕事に就きたいと考えている学生に対して修学資金の貸し付けを行います。
		・ ひとり親家庭へ、学校生活で必要になる費用を県から貸し付けを行います。
3	不登校0を目指して、学校に来ている来ていないに関わらず、みんなが平等に教育を受けることで、将来の進路選択の幅が広められると思います。	・ 学校に行きづらいこどものために、校内に新しく居場所をつくる支援をします。 ・ フリースクールなどに通うこどもたちの利用料を補助します。 ・ 心のケアを専門とするスクールカウンセラーや、福祉を専門とするスクールソーシャルワーカーを学校に配置します。
4	差別や偏見がなく、多様性が尊重される社会を実現して欲しい。	・ こどもの権利の尊重と擁護を基本とする「こどもの権利に関する条例（仮称）」の制定に向けて検討します。 ・ 道徳教育の充実に取り組んでいます。 ・ アンコンシャスバイアス（かたよった見方や思い込み）に気づき、なくしていくように取り組んでいます。 ・ 障害のあるこどもと障害のないこどもが地域で共に学び合えるように環境を整えます。 ・ 人権に対する意識を高めるために講演会や研修会を開いたり、プロスポーツチームと一緒に人権について理解を深める活動をしたりします。
5	こどもが意見をもち、さらにこどもの意見を尊重する社会になるとよいと思います。こどもに関するきまりや校則などにも、子供の意見を反映すると良いと思います。	・ こどもの意見を県の実施に反映させるため、こどもに意見を聴く機会をつくりま す。 ・ 高校生とやま県議会を行います。 ・ 校則についてスクールロイヤー（弁護士）からアドバイスをもらいます。
6	教育の現場で偏見などをなくし、みんなが平等に富山県をよくするために話し合うことが大切だと思います。	・ 学校での道徳教育を充実させるよう取り組みます。 ・ 学校で、アンコンシャスバイアス（かたよった見方や思い込み）に気づき、なくしていく取組みをすすめる人権について考えます。 ・ 障害のあるこどもと障害のないこどもが地域で共に学び合えるようにするための環境を整えます。
7	大人とこどもが意見を交流する機会をつくるのが大切だと思います。	・ こどもの意見を県の実施に反映させるため、こどもに意見を聴く機会をつくりま す。 ・ 高齢者から園児まで、世代を超えた交流を図り、楽しみながら危険箇所を把握し、交通安全について考えます。 ・ 高校生とやま県議会を行います。

8	部活動の活動時間を延長して欲しい。	・部活動の活動時間については、生徒のみなさんの負担にならにように、各学校で効率よく活動できるように工夫して実施されています。
9	①こどもの居場所を充実させて欲しい。	・「こどもまんなか社会」のシンボルと位置づける新川こども施設を2027年に開館します。こどもたちに様々な遊びを提供するとともに、保護者にとっても居心地がよく楽しめる施設を目指します。 ・こどもの遊び場として県が設置する「富山県こどもみらい館」や市町村などが設置する児童館の整備を行います。 ・放課後や土曜日に、学校の空き教室を活用して、地域の方々が参加して学習の支援をしたり、様々な体験や交流を行います。
	②学びの多様化をすすめて欲しい。	・ふるさと・地域の魅力について、実際にその場に行って学習したり、映像を見たりして理解を深める講座を開きます。 ・フリースクールなどに通うこどもたちの利用料を補助します。 ・退職した教員が、ボランティアで塾形式でこどもの学習を支援します。
	③こどもが意見を言える場をつくって欲しい。	・こどもの意見を県の実政に反映させるため、こどもに意見を聴く機会をつくりま す。 ・高校生とやま県議会を行います。
10	悩みを抱えるこどもをしっかりとサポートする体制を作ることが大切だと思います。	・いじめ、不登校、非行、ニート、ひきこもりなどの相談に幅広く対応する「富山県こども総合サポートプラザ」の開設します。 ・心のケアを専門とするスクールカウンセラーや、福祉を専門とするスクールソーシャルワーカーを学校に配置します。

ウェルビーイングの向上について

意見番号	意見	意見への対応
11	いろいろな友達の考え方や感じ方を知るために道徳教育が充実したらよいと思います。	「考え、議論する」道徳の授業にしていくために道徳の授業の研修を支援し、道徳教育を充実します。
12	差別やいじめをなくすことで、誰もが自分らしく生きられると思います。	・こどもの権利の尊重と擁護を基本とする「こどもの権利に関する条例（仮称）」の制定に向けて検討します。 ・いじめ相談電話の設置や、いじめの対策を専門とするスクールソーシャルワーカーを学校に派遣します。 ・差別意識をなくし、人権意識を高めるために人権教育を全世代に向けて行います。 ・人権に対する意識を高めるために講演会や研修会を開きます。また、プロスポーツチームと一緒に人権について理解を深める活動をします。 ・「富山・金沢こどもサミット」の宣言を実現するため、各学校での取組みについてこどもたちが発信・共有する機会をつくります。 ・学校で、アンコンシャスバイアス（かたよった見方や思い込み）に気づき、なくしていく取組みをすすめ人権について考えます。
13	一人一人を大切にし、互いを尊重して付き合い、助け合いのできる社会にしていきたいです。	・こどもの権利の尊重と擁護を基本とする「こどもの権利に関する条例（仮称）」の制定に向けて検討します。 ・人権に対する意識を高めるために講演会や研修会を開きます。また、プロスポーツチームと一緒に人権について理解を深める活動をします。 ・「富山・金沢こどもサミット」の宣言を実現するため、各学校での取組みについてこどもたちが発信・共有する機会をつくります。
14	自分を大切にし、周りの意見を尊重することで社会全体のウェルビーイングが向上すると思います。	・人権に対する意識を高めるために講演会や研修会を開きます。また、プロスポーツチームと一緒に人権について理解を深める活動をします。 ・「自分ごと」としてウェルビーイングを高める行動をすすめる取組みをします。 ・「ウェルビーイング・ロゲイニング（チームでまちを巡る体験活動）」を実施して、若者やこどもが、地域・社会とのつながりや生きがい、将来への希望などを感じられるようにします。 ・「考え、話し合い対話する」道徳の授業にしていくために道徳を教える先生の支援を行います。そして、学校での道徳教育を充実させるよう取り組みます。 ・「富山・金沢こどもサミット」の宣言を実現するため、各学校での取組みについてこどもたちが発信・共有する機会をつくります。
15	ウェルビーイングという言葉を実ての世代にひろめていけばよいと思います。	・「ウェルビーイング・ロゲイニング（チームでまちを巡る体験活動）」を実施して、若者やこどもが、地域・社会とのつながりや生きがい、将来への希望などを感じられるようにします。 ・「自分ごと」としてウェルビーイングを高める行動を進める取組みをします。
16	コミュニケーションを大切にした人と人との繋がりを実てにした社会を実現したい。	・「ウェルビーイング・ロゲイニング（チームでまちを巡る体験活動）」を実施して、若者やこどもが、地域・社会とのつながりや生きがい、将来への希望などを感じられるようにします。 ・「自分ごと」としてウェルビーイングを高める行動を進める取組みをします。 ・ウェルビーイングの向上を目的とした富山県公式の無料オンラインコミュニティを運営します。
	①魅力のある授業づくりと希望する授業を選択する機会をつくって欲しい。	・児童生徒の確かな学力の育成を図るために、市町村教育委員会の学力を向上するための取組みに対して支援を行います。 ・グローバルな視点で課題を捉え、その解決策を地域に根ざした形で実践する人材育成のため、探究型学習や課題解決型学習を支援します。

17	②児童ポルノに対する規制をして欲しい。	・ネット上を巡回し、ネット上の書き込みなどを見守り、学校へ情報を提供します。 ・こどもが安全にネットを利用することができるように、ネットリテラシーを向上させるための活動を行います。 ・富山県青少年健全育成条例に、児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止について定めています。
18	互いの意見を尊重し合い、互いを認め合う社会づくりを実現して欲しい。	・「自分ごと」としてウェルビーイングを高める行動を進める取組めます。 ・「ウェルビーイング・ロゲイニング（チームでまちを巡る体験活動）」を実施して、若者やこどもが、地域・社会とのつながりや生きがい、将来への希望などを感じられるようにします。 ・「考え、議論する」道徳の授業にしていくために道徳の授業の研修を支援し、道徳教育を充実します。 ・差別意識をなくし、人権意識を高めるために人権教育を全世代に向けてすすめます。 ・「富山・金沢こどもサミット」の宣言を実現するため、各学校での取組みについてこどもたちが発信・共有する機会をつくります。

ふるさと富山の未来について

意見番号	意見	意見への対応
19	富山県に移住者が増えるように、魅力的な観光地を増やし、特にこどもから大人まで皆が楽しめるような場所がたくさんできて欲しいと思います。	・富山県への移住の実現に向けた具体的な手段や方法を紹介するセミナーを開催します。富山県への移住を検討される方へ、本県への訪問費用（移住相談、就職活動等にかかる交通費や宿泊費）を助成します。 ・東京圏への一極集中の是正と、地方の中小企業等における人手不足の解消を目的に、東京23区から富山県内に移住し、対象法人に就業した方へ支援金を交付します。 ・「こどもまんなか社会」のシンボルと位置づける新川こども施設を2027年に開館します。こどもたちに様々な遊びを提供するとともに、保護者にとっても居心地がよく楽しめる施設を目指します。
20	僕は、富山県で撮影された映画に出演しました。この映画は、富山のすばらしい自然の音がこの映画にはたくさん使われています。そんな富山らしさをもっといろんな人に知ってもらいたいと思います。	・富山ロケ作品の公開/放映にあわせ、ロケ地マップの配布、イベント開催などを行い、富山に観光に来てもらえるように取り組みます。 ・観光公式サイト「とやま観光ナビ」やSNSを活用して、観光情報の発信に取り組みます。 ・海外からの観光客向けにホームページとSNSで情報を発信をして、富山県の観光PRと誘客に取り組みます。 ・ウェルビーイングの向上を目的とした富山県公式の無料オンラインコミュニティを運営します。 ・県の取組みに興味関心や愛着をもつ県民を増やすために、「伝わる広報」「親しみやすい広報」に向けた情報発信を行います。
21	①高齢者との触れ合いの機会の創出	・高校生の介護の仕事への関心を高め、介護分野への就労を促進するため、インターンシップを実施します。
	②こどもの居場所となる公共施設の充実	・「こどもまんなか社会」のシンボルと位置づける新川こども施設を2027年に開館します。こどもたちに様々な遊びを提供するとともに、保護者にとっても居心地がよく楽しめる施設を目指します。 ・こどもの遊び場として県では、「富山県こどもみらい館」を設置するとともに、市町村などが設置する児童館の整備を支援します。
	③職業体験の機会の充実	・市町村が地域の関係団体等との連携により実施する小中学生とその親などを対象とした介護職場体験等に要する経費を補助します。 ・高校生の介護の仕事への関心を高めるため、インターンシップを行います。 ・中高生が、公的病院や薬局で薬剤師業務を体験できるようにします。 ・県内のものづくり企業から中学校への講師派遣や企業見学会開催などの取り組みを支援します。 ・県内ものづくり企業、産業支援機関を見学する機会を設けます。 ・中学2年生（義務教育8年生）が、学校外での活動を通して、規律意識や社会性を高めたり、将来の自分の生き方を考えたりする機会をつくります。 ・県内の高校生等を対象として林業体験を実施して、林業への関心を高めます。 ・富山県の農業の魅力や農業という仕事に就くための支援について発信します。農業に興味のある人と産地をつなぎ、体験実習を行います。 ・漁業に興味のある人への体験実習を支援します。
22	若者の県外流出を防ぐために、観光PRの活性化、新たなイベントの創出、SNSを活用して富山の魅力について発信していくことが大切だと思います。	・県の取組みに興味関心や愛着をもつ県民の増やすために、「伝わる広報」「親しみやすい広報」に向けた情報発信を行います。 ・観光公式サイト「とやま観光ナビ」やSNSを活用して、観光情報の発信に取り組みます。 ・ウェルビーイングの向上を目的とした富山県公式の無料オンラインコミュニティを運営します。 ・「富山湾岸サイクリングコース」を活かしたサイクリングイベントを実施。自転車に乗る楽しみや自転車の魅力等を身近に体験し、自転車活用の促進と自転車を活かした健康づくり等を推進するため、こども向けのサイクリングイベントを開催します。 ・富山県内の人気イタリア料理店やワイナリー、生産者が一堂に会するイタリアンの飲食、販売イベントを開催します。 ・富岩運河環水公園での復興への想いを込めたイルミネーション等を実施します。
23	外国人留学生の受け入れを積極的にすることで異文化交流を促進したい。	・県内高等教育機関や日本語学校で学ぶ私費留学生に対する国民健康保険料の一部助成を行います。
24	バリアフリー化が進み、赤ちゃんからお年寄りが安心して暮らせる富山県になって欲しいです。	・鉄道の駅にエレベーター等を設置するために、市町村の鉄道事業者の補助を支援します。 ・障害のあるこどもと障害のないこどもが地域で共に学び合えるようにするための環境を整えます。
25	世界に誇ることできる富山県の工業技術をさらに活性化させたい。	工場などを新しく増設する際に助成金を交付します。

26	地域の繋がりや関わりをもたらす活動を保存し、新しい活動を創り出すことで、地域の中で、こどもも若者もお年寄りもみんなが、楽しさを感じて、富山県全体が盛り上がりと考えています。	・富岩運河環水公園での復興への想いを込めたイルミネーション等を実施します。 ・富山県美術館、水墨美術館、立山博物館、高志の国文学館において、さまざまな企画展を開催します。 ・ウェルビーイングをテーマに絵てがみを全国から募集し、ウェルビーイングを身近に感じてもらいます。 ・高志の国文学館が幅広い世代の学びの場、憩いの場となるよう、室井滋館長のネットワークを活かし、多彩なゲストとの対談や朗読・トークイベントなどを行います。 ・芸術文化に関わるさまざまなイベントを開催します。
27	ワクワクすることのできる富山県を目指して「富山富富富プロジェクト」を提案します。「見る」「食べる」「感じる」などのワクワクのピースを増やして、県民一人一人が自然と笑顔があふれだすことができたらいいなと思います。	・富岩運河環水公園での復興への想いを込めたイルミネーション等を実施します。 ・「こどもまんなか社会」のシンボルと位置づける新川こども施設を2027年に開館します。こどもたちに様々な遊びを提供するとともに、保護者にとっても居心地がよく楽しめる施設を目指します。